



【2018年10月15日～10月19日】

## 1. 先週の市場動向

### 【先週の市場の振り返り】

| <株式>           | 先々週末       | 先週末        | 前週比    |
|----------------|------------|------------|--------|
|                | 2018/10/12 | 2018/10/19 |        |
| NYダウ (米国)      | 25,339.99  | 25,444.34  | 0.41%  |
| 日経平均株価 (日本)    | 22,694.66  | 22,532.08  | ▲0.72% |
| DAX指数 (ドイツ)    | 11,523.81  | 11,553.83  | 0.26%  |
| FTSE指数 (英国)    | 6,995.91   | 7,049.80   | 0.77%  |
| 上海総合指数 (中国)    | 2,606.91   | 2,550.47   | ▲2.17% |
| 香港ハンセン指数 (中国)  | 25,801.49  | 25,561.40  | ▲0.93% |
| ASX指数 (豪州)     | 5,895.67   | 5,939.49   | 0.74%  |
| <リート>          | 先々週末       | 先週末        | 前週比    |
| S&Pグローバルリート指数  | 170.92     | 174.95     | 2.36%  |
| <債券> (利回り) (%) | 先々週末       | 先週末        | 前週差    |
| 米国10年国債        | 3.161      | 3.192      | 0.031  |
| 日本10年国債        | 0.150      | 0.149      | ▲0.001 |
| ドイツ10年国債       | 0.498      | 0.460      | ▲0.038 |
| 英国10年国債        | 1.633      | 1.576      | ▲0.057 |
| <為替>           | 先々週末       | 先週末        | 前週比    |
| ドル円            | 112.21     | 112.55     | 0.30%  |
| ユーロ円           | 129.69     | 129.58     | ▲0.08% |
| ユーロドル          | 1.1560     | 1.1514     | ▲0.40% |
| 豪ドル円           | 79.81      | 80.11      | 0.37%  |
| <商品>           | 先々週末       | 先週末        | 前週比    |
| 商品 (CRB指数)     | 197.94     | 197.18     | ▲0.39% |
| 原油先物価格 (WTI)   | 71.34      | 69.12      | ▲3.11% |

#### <株式>

主要国の株式市場はまちまちとなりました。米国株式市場は、16日に好決算の発表が相次いで大きく上昇し、NYダウは547.87ドル高 (+2.17%) となりました。18日は米中貿易摩擦やサウジアラビア情勢を巡って中東の地政学リスクが警戒され大きく下落しました。NYダウは週間では0.41%上昇しました。日本株式市場は、週初は111円台の円高などを嫌気して、日経平均株価は400円を超える下落となりました。週の半ばには米国株が大幅に反発したことから急反発しました。その後は上海総合指数の大幅安を受けて中国リスクが再燃したほか、米国とサウジアラビアの緊張が高まり、下落する展開となりました。日経平均株価は週間では0.72%下落しました。欧州株式市場では、英国のEU離脱交渉の行き詰まりなどは懸念されましたが、先週大幅に下落した反動から、ドイツDAX指数は0.26%、FTSE指数は0.77%上昇しました。中国本土株市場では、中国の景気減速や米中貿易摩擦激化・長期化への警戒感などから上海総合指数は2.17%、香港ハンセン指数は0.93%下落しました。

#### <債券>

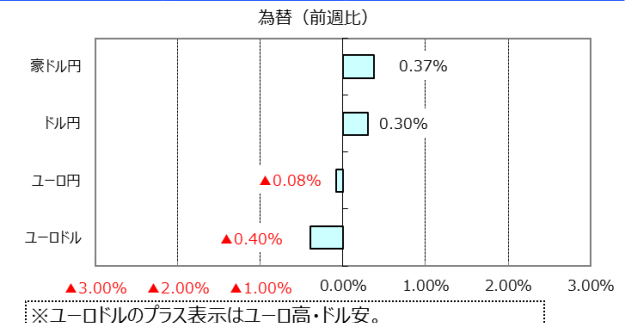
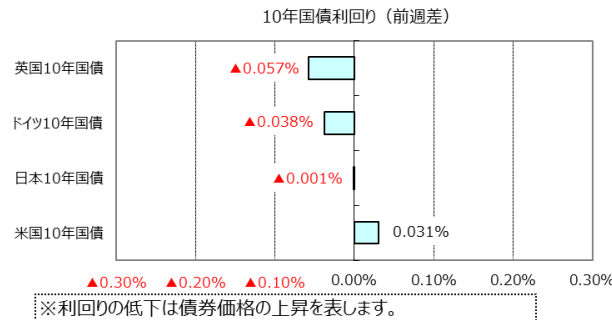
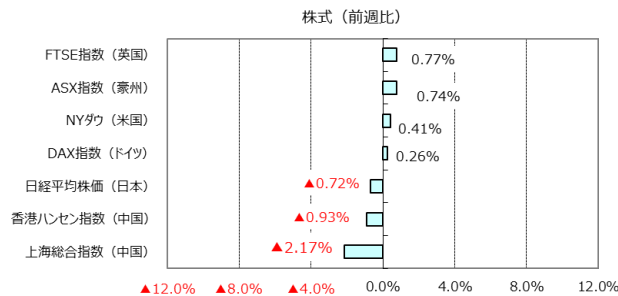
米国の10年国債利回りは、米連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事要旨を受けて利上げ継続の見方が強まり、週間で利回りが0.031%上昇しました。ドイツ、英国の10年国債利回りは低下、日本の10年国債利回りはほぼ横ばいとなりました。

#### <為替>

円は対ドルではFOMC議事要旨がタカ派的との見方などから、週間では円はドルに対して0.30%下落、ユーロに対してはほぼ横ばいとなりました。

#### <商品>

原油価格は、米週間在庫統計で原油在庫が増加したことなどから3.11%下落しました。



(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



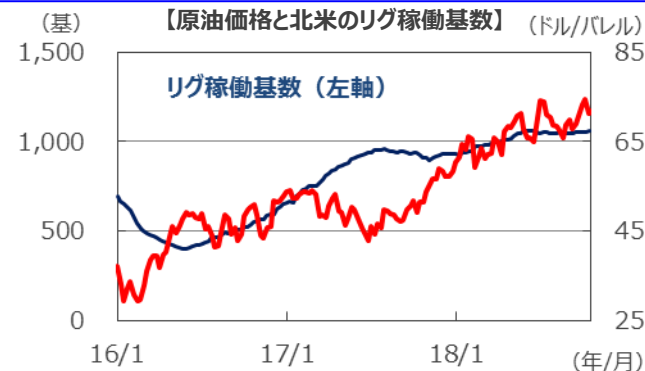
【2018年10月15日～10月19日】

## 2. 先週のマーケット・デイリー/ウィークリー

|           | テーマ   | ポイント  |
|-----------|---|---|
| 10/15 (月) | 先週のマーケットの振り返り   | 2018/10/8～10/12 マーケットの振り返り  |
| ☆         | 高値圏で推移する原油価格 (2018年10月)                                 | 1. 価格は堅調に推移、イラン減産への懸念が台頭  |
| 10/17 (水) | イラン減産への懸念等が原油価格を押し上げ                                    | 2. 良好な需給バランス、需要が拡大<br>3. 【イラン減産の影響には注意が必要】短期的には、イランの減産が原油価格を変動させる要因と考えられます。米国は原油・石油製品取引を行っている国に対して11月以降、取引を停止するよう要請しています。既にイランの生産量は減少に向かっていますが、他のOPEC諸国がこれに対応した措置（増産）をとる可能性は低いと見られています。                               |
| ☆         | これで分かる！中国株式市場の動向  | 1. 国内経済の減速懸念、米中貿易摩擦の激化、インフラ投資などの国内経済の減速懸念   |
| 10/18 (木) | 下落の要因と今後について  | 2. 人民元の下落<br>3. 【貿易摩擦は相当程度織り込みが進んでいる】2019年は二けたの増益が見込まれています（ブルームバークのデータによる）。米中貿易摩擦の先行きは不透明でその影響が大きくなる可能性はありますが、現在想定されている規模の追加関税であれば、市場で織り込みが進んでいると考えることができそうです。  |
| 10/19 (金) | 割高？割安？Jリート市場<br>好調な不動産市況が下支え                            | 1. Jリートは堅調に推移、割高感はない<br>2. 配当は増加、高利回り資産として注目<br>3. 【良好なオフィス市況が続く中、Jリート市場は底堅い動き】2017年以降、Jリートは自己投資口取得（株式の自社株買いに相当）、不動産ポートフォリオの収益性や質向上のための資産入れ替えなどの自動努力を行ってきました。こういった取り組みが、信頼・評価向上に繋がっていると考えられ、今後も投資家の買い安心感につながると期待できます。 |
| 10/19 (金) | 予想通り減速した中国経済 (2018年10月)<br>7-9月期GDPは+6.5%、インフラ投資に底入れの兆し | 1. 7-9月期GDPは+6.5%、市場予想を下回り、2期連続の減速<br>2. 固定資産投資は底入れ、小売の伸び拡大で内需は堅調<br>3. 【インフラ投資が加速に転じ、景気を下支えする見込み】米国との貿易摩擦の高まりを受け、インフラ投資を積極化するなどで国内景気を刺激するとしています。このためインフラ投資は今後加速し、固定資産投資の加速や鉄鋼などの需要拡大が見込まれます。                         |

### ☆先週の市場動向に関連する代表的な「グラフ・図表」

☆10/17 高値圏で推移する原油価格（2018年10月）  
イラン減産への懸念等が原油価格を押し上げ



(注) データは原油価格が2016年1月1日～2018年10月16日、リグ稼働基数が2016年1月1日～2018年10月12日。ともに週次データ。(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

☆10/18 これで分かる！中国株式市場の動向  
下落の要因と今後について



(注) データは2014年10月1日～2018年10月17日。(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

☆ は右の「グラフ・図表」を参照。



【2018年10月15日～10月19日】

### 3. 今週の主な注目材料

| 日付          | 米国  | 日本                                   | 欧州   | アジア・オセアニア・その他                   |
|-------------|---|--------------------------------------|--|---------------------------------|
| 10/22 (月)   |   | 9月コンビニストア売上高<br>8月全産業活動指数            |  |                                 |
| 10/23 (火)   |   | 9月百貨店売上高<br>9月スーパーマーケット売上高           | ユーロ圏10月消費者信頼感<br>独9月生産者物価指数 (PPI)  |                                 |
| 10/24 (水)   | ペーシェブック<br>8月FHFA住宅価格<br>10月マーケットPMI製造業、サービス、総合指数<br>9月新築住宅販売件数 | 10月日経PMI製造業☆                         | ユーロ圏10月マーケットPMI製造業、サービス業、総合指数<br>ユーロ圏9月マネーサプライ<br>独10月マーケットPMI製造業、サービス業、総合指数 |                                 |
| 10/25 (木)   | 9月耐久財受注<br>9月中古住宅販売成約件数   | 9月企業向けサービス価格指数                       | 欧州中銀 (ECB) 定例理事会☆<br>独10月IFO企業景況感指数  |                                 |
| 10/26 (金)   | 7-9月期GDP☆   | 10月東京消費者物価指数 (CPI)                   |  | (10/28(日) ブラジル大統領選挙、決選投票)<br>☆  |
| ☆<br>今週の注目点 | 今後の景気や金融政策を占う上で7-9月期GDPなどが注目されます。                               | 今後の景気や金融政策を占う上で10月日経PMI製造業などが注目されます。 | 欧州中銀 (ECB) 定例理事会の決定やコメントなどが注目されます。   | 今後のブラジルの経済政策全般にとって大統領選挙が注目されます。 |

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

弊社マーケットレポート

検索!!

先週の注目の「マーケット・デイリー」

2018年10月18日 [これで分かる！中国株式市場の動向【デイリー】](#)

2018年10月17日 [高値圏で推移する原油価格（2018年10月）【デイリー】](#)

先週の「マーケット・ウィークリー」

2018年10月15日 [先週のマーケットの振り返り（2018/10/8- 10/12）【ウィークリー】](#)

先月の「マーケット・マンスリー」

2018年10月3日 [先月のマーケットの振り返り（2018年9月）【マンスリー】](#)

先週の注目の「マーケット・キーワード」

2018年10月16日 [新しい貿易協定『USMCA』って何？【キーワード】](#)



【2018年10月15日～10月19日】

【重要な注意事項】

【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、投資信託は**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 **上限3.78%（税込）**  
 ...換金（解約）手数料 **上限1.08%（税込）**  
 ...信託財産留保額 **上限2.40%**

◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 **上限年 3.834%（税込）**

◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、あらかじめその上限額、計算方法を具体的に記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由によりあらかじめ具体的に記載することはできません。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメントが運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を事前に必ずご覧ください。

●投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

●投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

〔2018年5月31日現在〕

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、これらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。